

一般質問一覧表

田原市議会第4回定例会（第2日・第3日）

平成24年12月4日・5日

●個人質問

順番	議席	氏名	会派名	質問事項	ページ
1	10	辻 史子	公明党 田原市議団	(一問一答方式) 1 子ども・子育て関連3法と市の子育て環境「幼児教育・保育事業」の充実について 2 安心・安全な学校教育の取組について	1
2	3	大竹 正章	市民会議	(一問一答方式) 平成25年度予算編成について	3
3	2	仲谷 政弘	田原新生会	(一問一答方式) バイオマス発電・資源の利活用について	4
4	19	太田由紀夫	田原新生会	(一括質問一括答弁方式) 福江・清田地区地域整備計画について	5
5	14	牧野 京史	田原新生会	(一問一答方式) 入札契約制度の改革取組状況について	6
6	17	小川 貴夫	田原新生会	(一問一答方式) 1 観光振興について 2 農業における海外戦略について	7
7	11	彦坂 久伸	田原新生会	(一問一答方式) 小中学校規模適正化・適正配置について	9
8	12	長神 隆士	田原新生会	(一問一答方式) 1 公共交通の取組について 2 新保育園の整備について	10
9	18	杉浦 文平	無所属クラブ	(一問一答方式) 津波防災訓練の検証と今後の取組について	12
10	6	荒木 茂	田原新生会	(一問一答方式) 1 自然エネルギーについて 2 空き家の活用について	13

1 子ども・子育て関連3法と市の子育て環境「幼児教育・保育事業」の充実について

質問者 辻 史子 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

社会保障と税の一体改革の一環として成立した子ども・子育て関連3法に伴い、この財源を活用して地域で子育て支援策を実施するのは市町村であるため、自治体の主体性が求められる。地域のニーズに合った幼児教育・保育事業の展開が期待できると考える。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 「田原市次世代育成支援行動計画」の重点事業の目標における現状評価、課題は
- 2 子ども・子育て関連3法の制度を市の子育て支援策にどう生かしていくのか

2 安心・安全な学校教育の取組について

質問者 辻 史子 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

安心・安全が基本の環境の中で、子どもたちは学校教育を受けているものと考えている。昨今のいじめや交通事故、災害、犯罪など子どもを取り巻く問題について、市の取組状況を以下の点について伺う。

- 1 いじめ対策、不登校対策について
- 2 通学路の安全対策について
- 3 学校施設の耐震化（非構造部材）と長寿命化対策について
- 4 災害や犯罪等から自分の身を守る力を養うための防災・防犯などの安全教育について

平成25年度予算編成について

質問者 大竹 正章 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

平成25年度予算編成の基本方針においては、昨年度に引き続き全事業の徹底的な見直しとコスト削減を進めるとともに、優先度の高い事業を厳選し「選択と集中」による予算編成を行うとある。また、事業の計画立案に当たっては「市民の参加と協働」を前提とし、事業内容への反映（既存事業の見直しを含む）を行うこととする新たな見解が記述されている。

そして、重点施策として

- ・地域の安心安全の向上
- ・ふるさと人材の育成
- ・地域の活力創出
- ・快適で賑わいのある市街地づくり

以上の4項目が挙げられている。

これらの方針等について、以下のとおり伺う。

- 1 重点施策4項目について、それぞれどのような効果を想定しているのか
- 2 優先度の高い事業を厳選し「選択と集中」による予算編成とあるが、優先度を計る上で統一された尺度などはあるのか
- 3 事業の計画立案に当たり「市民の参加と協働」が前提とあるが、具体的にはどのような手法を考えているのか

バイオマス発電・資源の利活用について

質問者 仲谷 政弘 議員

質 問 要 旨（一問一答方式）

国においては、震災・原発事故を受け、本年7月に太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入拡大に向けた固定価格買取制度が施行され、更にバイオマス事業化戦略を策定し、地域のバイオマス活用の事業化を重点的に推進し、グリーン産業の創出・自立分散型エネルギー供給体制の強化を打ち出している。農業を基幹産業とする本市においては、家畜排泄物や食品廃棄物の処理に起因する悪臭や水質汚濁などの環境課題も抱えており、環境改善にもつながる家畜排泄物などのバイオマスの利活用を推進し、特に国の政策に合わせて自治体、事業者が連携してエネルギー化等の検討を積極的に促進すべきときではないかと考える。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 本市のバイオマス利活用の推進施策について、バイオマスの賦存量、調査研究の状況、バイオマスタウン構想の達成状況は
- 2 家畜排泄物や食品廃棄物などの処理に起因する悪臭、水質、土壌などへの環境影響等はどのような状況か
- 3 本市は、農業が盛んな地域であり、特に畜産からの糞尿、食品廃棄物を中心にバイオマス発電・資源の利活用を推進すべきと考えるが、推進上の課題と今後の方向性は

福江・清田地区地域整備計画について

質問者 太田 由紀夫 議員

質 問 要 旨（一括質問一括答弁方式）

平成21年3月に策定した「福江地区まちづくりビジョン」の具体化に向け、「福江・清田地区地域整備計画検討会」で現在整備計画を検討している。この計画について、市のまちづくりの中での位置付けや今後の展開について伺う。

入札契約制度の改革取組状況について

質問者 牧野 京史 議員

質 問 要 旨（一問一答方式）

長引くデフレ不況のもと、世界でも類を見ない少子高齢化の急速な進展で、社会福祉費用は増大する一方、投資的経費の抑制により、地域産業を担ってきた公共事業も大幅に削減されてきている。しかし社会資本整備に対する市民のニーズはますます多様化しており、高度経済成長期に築きあげた社会資本も老朽化し、その維持・更新に要する費用は、ますます膨らんでいく。

このような状況の中、今後の公共事業のあるべき姿を、市民・行政・企業のあらゆる立場から考察し、より価値の高い社会資本整備を実現しなければならない。これを解決する手がかりの一つとして、入札契約制度に着目し、その改革取組状況について伺う。

- 1 本市の入札方式と落札率について
- 2 総合評価方式のメリットとデメリットについて
- 3 随意契約の契約率について

1 観光振興について

質問者 小川 貴夫 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

渥美半島の観光を考える議員連盟が今年の8月31日に、市長に提出した観光振興のための提言書の中で「広域観光の推進」「観光資源の発掘・再評価」「情報発信の強化」を掲げたが、このことに関連して以下の点を伺う。

- 1 広域観光に関しては、田原市観光基本計画に渥美半島・知多半島・伊勢志摩鳥羽連携ネットワークという事業があるが、その内容や現在の状況について
- 2 観光資源としての、スポーツ交流を通してのスポーツ合宿誘致について
- 3 観光資源としての、メガソーラーについて
- 4 情報発信の強化方法としての、観光大使制度について

2 農業における海外戦略について

質問者 小川 貴夫 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

我が国の農業総産出額は減少傾向で推移しており、また、少子高齢化により人口が減少局面に入ったと見られる中、国内市場の規模の縮小が懸念され、新たな市場の開拓が重要となっている。

日本一の農業産出額を誇る田原市においても、海外へ向けての戦略は必要であり、今後、国の進むべき方策についても、田原市として対策をとっていく必要があると考える。本市の海外戦略として、豊橋田原広域農業推進会議での輸出の取組に参加していると聞いているが、現在の状況、今後の方針について伺う。

- 1 豊橋田原広域農業推進会議での輸出の取組状況は
- 2 田原市として農産物等の加工品等について、バイヤーの招聘を行い、加工業者とマッチングを実施する考えは

小中学校規模適正化・適正配置について

質問者 彦坂 久伸 議員

質 問 要 旨（一問一答方式）

平成19年11月の田原市教育問題研究会の「答申」から丸5年が経過した。この間も少子化は進み、数年後には複式学級になる小学校も見えてきた。また、小規模中学校の保護者からは「学級数1クラス、部活動の数も少ないので、多くの友だちがつくれ、多くの部活動ができる環境にして欲しい」との声も大きくなってきた。本市は、子どもの学習・教育環境の整備充実の一環として学校規模の適正化・適正配置の検討実施をうたっている。学校の規模適正化への具体的な取組がより一層求められる時期が来ていると考える。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 答申から今日までの5年間の規模適正化への取組とその進捗について
- 2 平成23年9月定例会の河合喜嗣議員の一般質問に対し「複式学級への回避の理解を得るための努力をしていきたい」との答弁があった。答弁以後、複式学級回避への努力をどのようにしてきたか
- 3 小規模中学校では、小規模化に伴い教育環境にどのような変化や課題が生まれてきているか、また、今後の見通しは

1 公共交通の取組について

質問者 長神 隆士 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

今、日本全国で路線バスが相次ぎ廃止されている。本市では「今の状況が続けば、田原市内の路線バスなどの公共交通が無くなる可能性がある」として、本年10月に公共交通に関する市民アンケート調査を実施している。バス路線が廃止されると高校生の通学、高齢者の買物や通院などの日常生活に大きな影響が予測される。伊勢湾フェリーの存続の件ではないが事前の対応が必要であると考え

る。

そこで以下の点について伺う。

- 1 バスの運営赤字に公費を投入する中、存続するために更なる負担増が考えられるが、今後の取組は
- 2 バスの利用促進についてどのようなことを実施してきたのか
- 3 バス路線を存続する上では地域ぐるみで、公共交通を守ることが必要であると考えるが、本市の考えは
- 4 今後の利用促進の取組は

2 新保育園の整備について

質問者 長神 隆士 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

田原市保育所運営実施計画に基づき、加治保育園と南部保育園を統合した新保育園が、平成27年4月の開園に向けて整備推進されており、市民も期待している。その一方で建設用地の選定の中で交通安全の視点を挙げているが、国道259号線の稲場の信号交差点は交通量が激しく、片側一車線であり、右折帯も無いため、地域の方々から心配であるとの声を数多く聞いている。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 現在の新保育園の進捗状況について
- 2 国道259号線の稲場の信号交差点の右折帯設置を含めた、新保育園周辺の道路の整備について
- 3 新保育園のセールスポイントと今後のスケジュールについて

津波防災訓練の検証と今後の取組について

質問者 杉浦 文平 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

去る11月10日、愛知県・田原市津波・地震防災訓練及び田原市自主防災会一斉防災訓練が実施されたが、その検証と今後の取組について伺う。

- 1 市内各地で避難訓練が実施されたが、その問題点と取組は
- 2 標高の低い地区への避難施設設置を考慮すべきではないか

1 自然エネルギーについて

質問者 荒木 茂 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

自然エネルギーを生かした街づくりは、これから重要な視点になると考える。
また、新しい観光資源として生かせると考える。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 本市の自然エネルギーに対しての基本的な考え方について
- 2 観光資源としてどのように考えているのか

2 空き家の活用について

質問者 荒木 茂 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

全国的に空き家が増えている。総務省が平成21年度にまとめた全国調査では、空き家は住宅全体の13%を占め、756万戸もある。5年前よりも15%増加している。本市においても、空き家を多く目にするようになった。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 空き家の現状について
- 2 空き家解消の対策は